Ten colors ～自分色～

令和８年１０月６日　発行　NO.８
認定こども園にちなん十色
TEL（0859)-82-0626　FAX（0859）-82-0520
Mail address　　s0310@town.nichinan.lg.jp

【完璧じゃなくて大丈夫！「子育てはっとり８通り」の術】

朝夕の冷え込みが厳しくなり、園庭の木々も赤や黄色にきれいに色づく季節となりました。子どもたちは、澄んだ秋空のもと、落ち葉拾いに夢中になったり、元気に走り回ったりと、五感を使って秋の深まりを楽しんでいます。

先日、研修で児童相談所の先生からお話を伺った「子育てはっとり」という、子どもへの前向きな声かけのコツについてご紹介します。

子育て中、ついつい「走らないで！」「触っちゃダメ！」といった否定的な言葉（いわゆる“赤カード”の言葉）が出てしまうことはありませんか？毎日忙しい中で、そう言いたくなってしまうのは当然のことで、決して悪いことではありません。「完璧を目指す必要はありません。**まずは60パーセントできれば大成功！**」とおっしゃっていました。 今回は、その「はっとり（8通り）」の中から、今日からすぐに試せる基本の技をご紹介します。

■忍法その①：代わりみの術（代わりの行動を伝える）■

子どもに「～しないで」と禁止すると、どうすればいいか混乱してしまいます。そこで、「～してね」と**次にやってほしい具体的な行動**を伝えてあげる技です。

×「走らないで！」 ☞ ○「一等賞の歩き方でいこうね」「おててをつないで歩こうね」

×「（お店の商品を）触らないで！」 ☞ ○「おててはポッケにいれて、見るだけにしようね」

×「動かないで！」 ☞ ○「ここにカッコよく立って待っててね」

※忍法は8通りあり、やりやすい忍法から挑戦してみてください。（資料を添付します）



皆様のお越しをお待ちしています。

【保護者講演会＆交流ワークショップ～クリスマスクッキーをアイシングで飾ろう～】

■日時：12月21日(月)■

13:00～14:00　園児のおやつ作り…クッキーをアイシングで飾る

14:15～16:00　見守る保育講演会…講師：新宿せいが子ども園より２名

しっぱいは未来のたねまき

一度立ち止まって考えて…繰り返し 実践していこう！ の巻

「話すこと」と「聴くこと」～お互いを大切にし合う心地よさ～

先日、子どもたちに絵本を読もうとしたときのことです。絵本を楽しみに集まった子どもたちの間で、「見えないよ」「狭いよ」と小さな声が重なりました。



その時、ふと考えました。
「話す人」を大切にすることとは、その言葉にそっと耳を傾けること。
「聴く人」を大切にすることとは、届く声や間を意識して心を込めて伝えること。

そこで子どもたちに問いかけました。「先生が話している時、聴く人はどうしたらいいかな？」 子どもたちはハッと気づき、「みんなで、じっくり聴くこと！」と応えてくれました。

静けさの中で始まった絵本の時間。子どもたちの表情は物語に合わせて豊かに変化し、終わった後も自然と「一人が話し、周りが聴く」という素敵な姿が見られました。

人の話を最後まで聴くことは、その人の存在そのものを大切にすることです。 自分の思いが届く安心感と、相手の思いを受け止める優しさ。言葉のやり取りを通して、互いを尊重し合える心の土台を、これからも大切に育んでまいります。

作：こんの ひとみ 絵：いもと ようこ『くまのこうちょうせんせい』　金の星社